

# まちの話 だい

## 10月22日 | 運転手気分で出発進行

大井川鐵道新金谷駅で「SL フェスタ 2016 in 新金谷」が開催されました。3台のSLが揃う「SL大集合」やSL綱引き、転車台手回しなどの多彩なイベントが用意され、会場には多くの家族連れや鉄道ファンが訪れました。

新金谷駅会場で初めて行われる「運転体験」は、抽選になるほどの人気ぶり。子どもたちは、普段できない体験に目を輝かせていました。



## 10月20日 | 高校で共同生活を体験

島田第一小学校の通学合宿が、島田高校の修己館しゅうごかんで行われ、小学4～6年生39人が参加しました。2泊3日の共同生活を通じて、協調性や生活習慣を学ぶことが目的です。

また、島田高校の2年生10人がボランティアとして参加し、校舎の施設案内や宿題支援などを行いました。児童たちは、先輩に勉強を教わりながら、楽しく宿題に取り組みました。

## 10月15日 | 暮らしを楽しく豊かに

プラザおおりで「くらし・消費・環境展 2016」が開催され、市内の24団体がブースを出展。環境や食生活、防犯など暮らしに役立つさまざまな情報を提供しました。

今年のテーマは「見て、聞いて、さわって感じよう、生活のヒント」。木工クラフトやエコクッキングなどの体験コーナーや、会場一周スタンプラリーなどの企画もあり、多くの人で賑わいました。





## 10月9日 | 色鮮やかな伝統の舞

江戸時代から旧初地区に伝わる「おせん女踊り」が、旧初天王神社秋祭りで奉納されました。この踊りは、かつて機織りの娘「おせん」が、旅人の労をねぎらい地元のお茶でもてなした姿を表現したものです。

今年は初倉小学校の女子児童 15 人が踊りを披露。色鮮やかな花笠や衣装を身にまとったの踊りは、来場者の目を引きつけていました。

## 10月16日 | 子どもたちが店を経営

初倉商店街を中心に「第31回初倉まつり」が開催されました。小・中学生が模擬株式会社を運営する「ジュニアエコノミーカレッジ」では、子どもたちが企画・開発した商品を店頭で陳列。店舗経営の難しさや楽しさを、実践から学びました。

出店ブースには、31店舗が参加。また、ステージではさまざまなパフォーマンスが披露され、多くの来場者を楽しませました。



## 10月23日 | 生きた文化の継承

市指定の無形民俗文化財「笹間神楽」が、川根町笹間上の粟原八幡神社と二俣八幡神社で披露されました。地元だけでなく市外や、笹間地区に滞在していた外国人観光客も訪れ、国際色豊かな雰囲気となりました。

「恵比寿・大国の舞」では、面を着けた二人が笛と太鼓に合わせて、魚釣りの所作を滑稽に演じ、観客を盛り上げていました。